



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2020年11月11日発行 第2770号

本日のプログラム

2020年11月11日(水)
通算第2947回例会
本年度第14回
場所：瀬戸商工会議所

例会次第

- ・開会点鐘
- ・「それでこそロータリー」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事 米山奨学生イ・チェリムさんに11月奨学金授与
- ・誕生日・結婚記念日祝福
- ・幹事報告
- ・委員会報告/その他の報告
- ・卓話
パスト会長 加藤 眞言君
「あったかい話」
パスト会長 加藤唐三郎君
「題無(だいなし)」

前回例会記録

2020年11月4日 第2946回例会

- ・出席報告 会員数 55人中出席 39人
出席率 70.90%
- ・本人誕生日 金谷康正君 青山貴彦君
加藤五津美君
- ・ご夫人誕生日
近藤三博君ご夫人寿美代様
- ・結婚記念日 金谷康正君
加藤唐三郎君
刑部祐介君
- ・卓話
地区ポリオプラス/職業研修チーム
副委員長 青山 貴彦君
「ロータリー財団プログラムについて」
～財団は、ロータリー会員の財産です～

例会予定

《《《11月18日(水)》》》

加藤克弘君
「企業の在り方と
地域への教育支援活動」

《《《11月25日(水)》》》

休会

《《《12月2日(水)》》》

パスト会長 加藤 令吉君
「何の為に？」



第2946回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さん、こんにちは。本日は瀬戸ロータリー第2946回の例会であります。まずゲストを紹介致します。2020学年度米山奨学生イ・チェリムさんであります。

さて11月はRIのロータリー財団月間ということで後程、地区の財団の副委員長として青山貴彦君より卓話をいただきたく思っております。先週は始めて以来のオンラインでの例会をさせていただきました。皆さん、見ていただけたでしょうか。私は自分がアナウンサーにはなれないと改めて感じました。これはある意味取っ掛かりでございまして、改善点があれば色々改善し、皆さんが参加しやすい例会にしていかなければならないと思っております。今日は米山梅吉記念館と墓参りという話をさせていただきます。

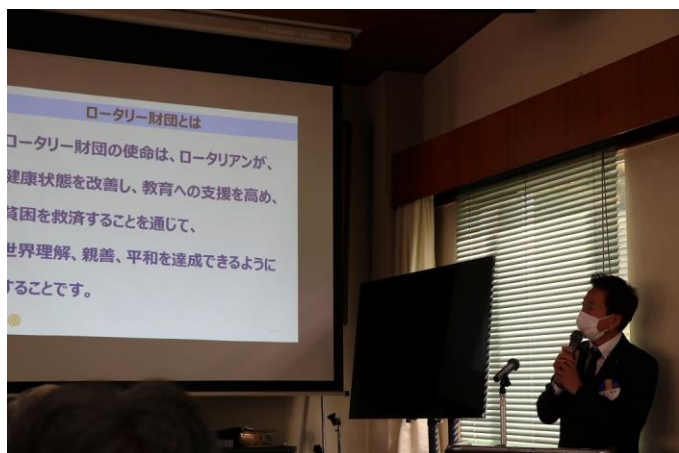
ご存知の通り、米山梅吉は日本ロータリーの父といわれており、生まれたのは1868年明治元年で、亡くなったのは1946年昭和21年です。米山は生まれた時は竹田姓でございまして、その後米山家の養子となりました。米山家というのは静岡県駿東郡長泉町という所の旧家でございまして、大きな土地屋敷を持っている家柄でした。米山が亡くなり、広大な屋敷は古くなり、遺族が引き継いだものの維持管理が大変という事で売りに出されるような話が出ました。そこで近隣のロータリーの方が米山梅吉の資料や生前の遺品等が売りに出されてバラバラになってはいけないと、それを一つに集めて建物に集約したいということで、記念館を作り取めましようという話が出ます。そこで遺族の方に本宅の一角を借りて記念館を作りました。これが昭和44年9月に出来上がり、遺品、関連資料が収められました。ところがまた売りの話が出まして、それでは、ということで財団を立ち上げ、日本中のロータリーに寄付を募り新しく米山梅吉記念館新館が1998年平成10年の4月に出来上がりました。新館が出来、広くなりましたので、全国のロータリーに移動例会で記念館を訪問してほしいと声が掛かり、そこで瀬戸ロータリーも2006年平成18年にこの記念館訪問とそこにある墓参りをしました。諸先輩の方はあの時のことかと思ひ出される方もあるのではないかと思います。2006年は私がロータリーに入って丁度5年くらい

で、まだまだ新人の部類で、観光バスに乗り参加しました。着いてから名刺交換をしたり、近隣からの会長さんに挨拶をした後に例会を行い、館内を案内していただきました。私はロータリーという組織が右肩上がりですと順風満帆に発展してきたと自分なりに考えていました。その頃のロータリーの情報はロータリーの友か諸先輩方のお話し或いは卓話しか無かったわけでありました。その時初めて米山梅吉の年表、即ち日本ロータリーの歴史を知りました。1940年に日本ロータリーはRIを脱退して1949年に復帰するまで9年間、実は日本ロータリーはロータリーという名前を使わずにいました。どうしてそうなったかという、まさに1937年、昭和12年に起きた日中戦争以降ずっと太平洋戦争に至るまで戦争の影響が出たわけですね。だんだん戦争がひどくなってきますとロータリーというものが敵国の文化であるということでRIから脱退せざるを得なくなったという事実をその時初めて知り、私はカルチャーショックを受けました。1940年に突入したロータリーを脱退という9年間は先人諸氏にとってはいつ果てるとも知れない、いつ復活できるかもしれない非常に困難な重苦しい時期だったわけでありました。その苦難を考えてみますとまさにロータリーが山あり谷あり色々な思いをして今の姿があるのだと思ひ、ロータリーに対して何とも言えない感動、これが歴史なのだと思います。その館内を見た後、同じ敷地内にある米山家の墓に墓参りをさせていただきました。我々、折角縁を持ってロータリーに所属しているわけですから、自分の組織のルーツを振り返ってみるのもこれから長いロータリー人生において何か影響があるのではないかと思います。自分の年度の時にこの記念館への訪問を考えていましたが、コロナで3月4月5月が休館となり、6月から再開されたのですが、大人数で行くのはディスタンス等のことを考えると無理なようです。ですので、是非皆さん、個人的に静岡県駿東郡長泉町を通る折がありましたら、ルーツを少し肌身で感じていただくと、またこれからのロータリー人生が変わるのではないかと思います。

以上、今日は米山梅吉記念館訪問と墓参りの話をさせていただきます。



地区ポリオプラス/職業研修チーム
副委員長 青山 貴彦君
「ロータリー財団プログラムについて」
～財団は、ロータリー会員の財産です～



皆様こんにちは。今日は財団月間という事で財団の卓話をさせていただきます。ロータリーの使命というのは健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することになっております。

ロータリー財団の歴史は 1917 年に基金の設置をアーチ・C・クランプさんが提案し 26 ドル 50 セントの寄付でスタートし、これが全世界で多くの人に人生を与える財団へと変更していきます。【今年度 RI 会長、ロータリーの基礎認識等をスライドにて説明】

ロータリー財団とは

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、
健康状態を改善し、教育への支援を高め、
貧困を救済することを通じて、
世界理解、親善、平和を達成できるように
することです。



ニコボックス報告

2020年11月4日例会

青山貴彦君の卓話を楽しみにしています。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫

財団卓話をさせていただきます。よろしく願い致します。青山貴彦 古希の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。金谷康正 誕生日を祝って頂きありがとうございます。加藤五津美 いやいよ還暦です。誕生日に赤い帽子をかぶらされて実感がわきました。青山貴彦

妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。近藤三博 お祝い頂きありがとうございます。コメントなし。加藤唐三郎 45 回目の結婚記念日を迎えることができました。次の金婚式を目指します。お祝い頂きありがとうございます。金谷康正 結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。たぶん 30 年になると思いますが定かではありません。刑部祐介 大変うれしい事がありました。加藤陽一

11月7日(土)～8日(日)に赤津窯の里めぐりが開催されます。是非参加し

地区補助金 使用額について

●コロナウイルスに関連した件数

今年度
14件 約 640 万円
昨年度
9件 約 540 万円



販売目標 5,000枚 @¥1,000 (税込)

〔原価 @¥700 (税込)〕



以上で卓話とさせていただきます。是非また寄付について、いつもお願いばかりで申し訳ございませんが、ご理解いただきましてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

て下さい。加藤捷

来る 11 月 7 日(土)8 日(日)AM9 時から PM4 時迄、赤津窯巡りをコロナ対策を充分行って開催します。是非お越し下さい。寺田悟 嬉しい事がありました。孫が総務省に内定しました。加藤捷 お陰様で……。山本英雄

東海東京フィナンシャルグループが 2020 年 10 月 1 日に誕生 20 周年を迎えることになりました。吉田弘

早退します。貴彦先生ごめんなさい。刑部祐介

地区ポリオプラス/職業研修チーム副委員長 青山貴彦君の卓話を楽しみにしています！

青山稔、井上博、大竹一義、大原道夫、梶野輝雄、勝谷哲次、加藤五津美、加藤克己、加藤定江、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤光哉、加藤太伸、加藤陽一、加藤令吉、金谷康正、亀井勝、小池芳樹、鈴木伸、鈴木政成、高橋信郎、田中靖達、寺田悟、戸田由久、野田由紀子、牧オサム、増岡錦也、松本哲也、山本英雄、奥儀武蔵

11 月の誕生日・結婚記念日おめでとございます！

大原道夫、加藤五津美、加藤一夫、加藤太伸、奥儀武蔵